

第4回「震災対策技術展」宮城において講演およびパネル展示を行いました(2013/8/8-9)

テーマ：災害に強いまちづくり

URL：http://www.exhibitiontech.com/etec_miyagi/

8月8日(木)・9日(金)の2日間、仙台市AERビル5階・6階において、第4回「震災対策技術展」宮城ー自然災害対策技術展ーが「災害に強いまちづくりで明るい未来を築く」をテーマに開催され、当研究所からは源栄正人教授(災害リスク研究部門)と佐藤健教授(情報管理・社会連携部門)が、実行委員として準備段階から参加しました。災害対策に関連する企業が出展する展示会場においては、当研究所の研究成果や活動の一部を紹介するパネル展示を行いました。パネル展示コーナーには、2日間で100名以上の人が訪れ、質問や意見、情報が寄せられました。

また同時に、6階会議室においてセミナーも開講され、当研究所からは以下の6名が講演し、事前に申し込みをした聴講希望者が来場しました。

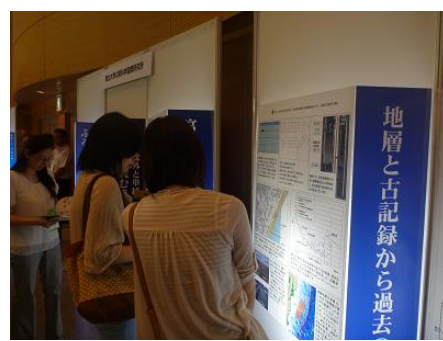
- ・大野 晋 准教授(災害リスク研究部門)「東北地方太平洋沖地震の揺れの特徴」
- ・井内 加奈子 准教授(人間・社会対応研究部門)「災害後における再定住地の決定プロセスとコミュニティダイナミクス」
- ・村尾 修 教授(地域・都市再生研究部門)「世界における震災・戦災復興後の都市」
- ・遠田 晋次 教授(災害理学研究部門)「連鎖する地震活動：3.11後の地震活動を考える」
- ・江川 新一 教授(災害医学研究部門)「災害時の保健・医療・福祉対応と備えるべき受援力」
- ・サッパシー アナワット 准教授(地震津波リスク(東京海上日動)寄附研究部門)「2011年東北地方太平洋地震津波の被害関数ー復興・対策への提案ー」

各講演とも、医療関係・消防関係・自治体・企業・一般市民など各々60名ほどの聴衆があり、普段聞きなれない分野の講演においても、活発な意見交換や質疑応答が行われました。

当研究所としては、今回の展示やセミナーで得られた意見や情報を更に研究に活用し、社会に還元していくつもりです。



セミナー会場での講演の様子



展示会場でのパネル展示



展示会場でのパネル展示

文責：佐藤健(情報管理・社会連携部門)